

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要（平成25年度）

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(1/12)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの平均値にIIIを加味)	I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
ふじのくに先端医療総合特区(静岡県)	正	A 5.0	A 4.7 進捗度 ・がん診断装置・診断薬の開発 (※) ・がん診断装置・診断薬以外の医療関連製品の開発 350% ・医療機器生産金額 114% 等 (※)は定性的評価	B 4.1 財政支援等 ・医療機器等開発・参入支援事業 6件 地域独自の取組 ・静岡新産業集積クラスター事業化推進事業費補助金 1件 ・試作・実証試験助成 8件 ・クラスター産業分野支援貸付(利子補給) 等	+1.00	<p>・当初目標を上回る成果(※1)が上っており、方向性及び進捗状況は適切である。</p> <p>・地域企業による産業クラスターが形成され、地域企業の活性化や雇用創出という特区ならではのプロジェクトを着実に進めている。</p> <p>・人材育成を含め、地域が一体となって特区への取組み(※2)がなされている点が高く評価できる。</p> <p>※1: ・がん診断装置・診断薬の開発: H24年度に1件を開発し、H27年度に3件の開発を目標 ・がん診断装置・診断薬以外の医療関連製品の開発: H25年度目標2件に対し、7件を開発(進捗度350%) ・医療機器生産金額(県内): H25年度目標3,282億円に対し、3,735億円の実績(進捗度114%)</p> <p>※2: 沼津工業高等専門学校が行う人材育成事業が全国で初めて医療機器責任者講習として認定を受け、地域への迅速な資格者の輩出が可能となった。また、全国のライフ関連総合特区連携会議を開催し、類似特区との情報共有を積極的に実施している。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。
(注)「総合評価」は5.0を上限とする。

*2)「IIIについては、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。